

令和2年2定 予算特別委員会(部審査) 開催状況

開催年月日 令和2年6月30日(火)

質問者 日本共産党 宮川 潤 委員

担当部課 総合政策部知事室広報広聴課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策について</p> <p>(五)ブルーライトアップ事業について</p> <p>1 ブルーライトアップ事業について</p> <p>25日夜の夜に、緊急のブルーライトアップ事業なるものが行われ、赤レンガ庁舎が青く照らされました。医療従事者などエッセンシャルワーカーへの感謝のエールとのことですが、この緊急の事業の目的と実施に至った経過、費用、およびその効果を獲得できたと評価できるのか、伺います。</p> <p>2 実施時期の決定理由について</p> <p>ライトアップの前日には、小樽市でクラスターが発生しており、道民の中には不安が残る中で、この日に行ったという理由を伺います。</p>	<p>(広報担当課長)</p> <p>ブルーライトアップ事業についてでございますが、今回の取組は、道及び札幌市、さらには包括連携協定企業や協力の申し出のあった企業や団体により、医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆さまに感謝の気持ちをお伝えるため、市内8カ所でブルーライトアップ事業を実施することとしたものでございます。</p> <p>赤れんが庁舎に係る照明器具や自家発電等にかかる経費につきましては、協力企業の負担となっておりでございます。</p> <p>医療従事者をはじめとするエッセンシャルワーカーの皆さまには、マスコミの報道に加えてインターネットを通じた映像の発信等により、広くこの取組をお知らせしているところでございます。</p> <p>(広報担当課長)</p> <p>実施時期についてでございますが、道では、国の緊急事態宣言が解除された5月25日から1か月後の節目であり、6月以降の段階的緩和の「ステップ2」に入った6月19日から1週間程度が経った6月25日にブルーライトアップを実施することで準備を進めてきたところでございます。</p> <p>また、この取組は集客イベントではなく、後日、インターネットを通じてご覧いただくことを目的として実施したものであり、大勢の人が集まることのないよう住民への事前周知は行わないこととしたところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>3 北海道スタイルの徹底との整合性等について</p> <p>集客イベントではないので、3密を作り出すことのないように行ったとしていますけれども、塀に人が集まるように、数十人が密着して撮影していたと、様子が見てとれます。報道機関と関係者は塀の中にいまして、知事のツイッターの写真もきれいに写っていたんですけども、人と人と距離をあけるように整理する方もいっしょなかったようです。北海道スタイルの徹底の役割は、だれが担ったのか。このツイッターには道民からどのような意見が寄せられているのか、披歴していただきたいと思います。</p> <p>今、医療従事者の方々などに対する感謝のほか、経費への疑問など様々な意見がツイッターで見られたということですが、私もこう見せていただきましたけれども、どうも見たところは、批判的な意見が多かったように思いますよ。ツイッターでは他にすべきことがあるでしょ。などというような意見もみられました。</p> <p>医療従事者への感謝の表し方として、有効な方法について、さらに検討すべきであるということについて、指摘をさせていただきます。</p> <p><u>新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策について質問してきましたが、いずれも納得できず、知事に直接お聞きしたいと考えているので、委員長のお取りはからいをお願いいたします。</u></p>	<p>(知事室次長)</p> <p>当日の対応などについてであります。当日は、感染リスクの高い状況とならないよう道の新型コロナウイルス感染症対策チームに加え、庁舎管理を担う部局等の職員が報道関係者や見学者の状況を確認していたところであります。</p> <p>また、知事のツイッターへのコメントを確認したところ、医療従事者の方々などに対する感謝のほか、経費への疑問など、様々な意見が寄せられております。</p>